

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所
原子炉施設（JRR-3 原子炉施設）
使用前検査成績書（その 1-3）

〔原子炉冷却系統施設〕

原子力規制委員会

使用前検査成績書

事業者及び事業者名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所		
検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室		
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 JR-3原子炉施設		
申請年月日及び申請番号	令和元年6月17日 令01原機(科研)003		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
別紙-1のとおり	別紙-1のとおり	良	別紙-1のとおり
原子力施設検査官	別添-1のとおり		
検査立会責任者 (役職名)	別添-1のとおり		
備考	設工認申請書に記載されている試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則(昭和32年総理府令第83号)第3条の4第5号に基づき試験研究用等原子炉施設の性能検査をもって終了とする。		

令和3年2月3日

全ての設工認申請書に係る工事に対する使用前検査及び使用前事業者検査の終了を確認したので削除
松本武彦

検査年月日	原子力施設検査官	検査立会責任者 (役職名)
令和元 年 10 月 9 日 10	梶川幸祐 松本武彦 大和博幸 10月9日 松本武彦 大和博幸	[Redacted]
令和元 年 12 月 3 日 4	松本武彦 大和博幸 後藤裕司	[Redacted]
令和元 年 12 月 23 日 24	松本武彦 後藤裕司	[Redacted]
令和2 年 3 月 3 日 4 5	松本武彦 大和博幸	[Redacted]
年 月 日		

検査項目	検査年月日	結果	摘要
○冷却塔塔体			
材料検査	令和元年12月23日	良	別紙-2, 3 のとおり
配筋検査	令和元年12月 ²³ / ₂₄ 日	良	別紙-4, 5 のとおり
型枠検査	令和元年12月23日	良	別紙-6, 7 のとおり
外観検査	令和元年12月23日	良	別紙-8, 9 のとおり
○ポンプ室			
材料検査	令和2年3月3日	良	別紙-10, 11 のとおり
配筋検査	令和2年3月3日	良	別紙-12, 13 のとおり
外観検査	令和2年3月 ³ / ₄ 日	良	別紙-14, 15 のとおり
○冷却塔塔体、ポンプ室			
設計変更の生じた 構築物等に対する 適合性確認結果の検査	令和2年3月5日	良	別紙-16, 17 のとおり
品質管理の方法等 に関する検査	令和元年10月 ⁹ / ₁₀ 日 令和元年12月 ²³ / ₂₄ 日 令和2年3月 ³ / ₅ 日	良	別紙-18, 19 のとおり

検査前確認事項

検査年月日 令和 元 年 12 月 23 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備 考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

材料検査記録

検査年月日 令和元年 12月 23日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体		
	判定基準	結果	検査方法
	設工認申請書に記載された材料（使用前検査要領書の添付資料-2「表1、表2、表6、表7、図1.3及び図1.4」参照）が使用されていること。	良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和元年 12月 23日
24日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：配筋検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体		
確認事項		確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。		記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。</p>			

配筋検査記録

検査年月日 令和元年 12 月 23 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体	結果	検査方法
判定基準			
①	鉄筋及びアンカー筋の径（呼び径）、本数又は間隔が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図 1.3 及び図 1.4」参照）のとおり施工されていること。	良	記録
②	アンカー筋の埋め込み長さ及び定着長さが、設工認申請書（使用前検査要領書の詳細は添付資料-2「図 1.3」参照）に示された値以上で施工されていること。	良	記録
③	スパイラル筋の径（呼び径）、外径及びピッチが、設工認申請書（使用前検査要領書の詳細は添付資料-2「表 2 及び図 1.3」参照）のとおり施工されていること。	良	記録
④	鉄筋の継手長さが設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表 3 及び図 1.3」参照）に示された値以上で施工されていること。また、フレア溶接部に割れ等の有害な欠陥がないこと。	良	記録
⑤	鉄筋と型枠とのかぶり厚さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表 4、図 1.3 及び図 1.4」参照）に示された値以上で施工されていること。	良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和元年12月23日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：型枠検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体		
確認事項		確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。		記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

型枠検査記録

検査年月日 令和 元 年 12 月 23 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体		
	判定基準	結果	検査方法
	型枠の寸法が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表5、図1.3及び図1.4」参照）のとおり施工されていること。	良	記録
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。		

検査前確認事項

検査年月日 令和元年12月23日

検査場所 JRR-3原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

外観検査記録

検査年月日 令和元年 12月 23日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体		
判定基準		結果	検査方法
耐震壁が使用前検査要領書の添付資料-2「図 1.1 及び図-1.2」に示す位置に施工されており、有害な傷、へこみ等がないこと。		良	立会
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 3 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 ポンプ室		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 3 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 ポンプ室		
	判定基準	結果	検査方法
	設工認申請書に記載された材料（使用前検査要領書の添付資料-2「表1、表2、表6、表7、図2.3及び図2.4」参照）が、使用されていること。	良	記録
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。		

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 3 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：配筋検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 ポンプ室		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備 考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

配筋検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 3 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 ポンプ室		
判定基準	結果	検査方法	
① 鉄筋及びアンカー筋の径（呼び径）、本数又は間隔が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図 2.3 及び図 2.4」参照）のとおり施工されていること。	良	記録	
② アンカー筋の埋め込み長さ及び定着長さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図 2.3」参照）に示された値以上で施工されていること。	良	記録	
③ スパイラル筋の径（呼び径）、外径及びピッチが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表 2 及び図 2.3」参照）のとおり施工されていること。	良	記録	
④ 鉄筋の継手長さが設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表 3 及び図 2.3」参照）に示された値以上で施工されていること。また、フレア溶接部に割れ等の有害な欠陥がないこと。	/	※	
⑤ 鉄筋と型枠とのかぶり厚さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表 4、図 2.3 及び図 2.4」参照）に示された値以上で施工されていること。			良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。 ※ 構造上鉄筋の継手の施工実績なし			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 3 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 ポンプ室		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

外観検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 ポンプ室		
	判定基準	結果	検査方法
	開口閉塞が使用前検査要領書の添付資料-2「図2.1及び図2.2」 に示す位置に施工されており、有害な傷、へこみ等がないこと。	良	立会
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。		

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 5 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 5 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。 ・試験研究用等原子炉施設の地盤（第6条） ・地震による損傷の防止（第7条第1項）		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和元年 10月 10日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち ・ 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室		
	確認事項	確認方法	結果
	法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。		

検査前確認事項検査年月日 令和元年12月3日検査場所 JRR-3原子炉施設検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室	
確認事項	確認方法	結果
法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。		

検査前確認事項

検査年月日 令和元年 12 月 23 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室	確認方法	結果
法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良	
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 3 5 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室	
確認事項	確認方法	結果
法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。		

品質管理の方法等に関する検査記録

9

検査年月日 令和 元 年 10月 10日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		継続
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動について、事業者の定める品質保証計画書等に基づく実施方法、体制等の仕組みを確認した。次回以降の検査において、品質保証の実施に係る組織、保管活動の計画・実施・評価・改善を継続して確認する。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 ・事業者の定めた品質計画書では、建設部が設計、工事及び検査に関する際の権限及び責任が明確にされていないことから、次回以降の検査において、継続して確認する。	
	2 保安活動の計画	
	3 保安活動の実施	
	4 保安活動の評価	
	5 保安活動の改善	
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-20に示す。	

品質管理の方法等に関する検査記録

3

検査年月日 令和 元 年 12月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		継続
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。 工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。	
	2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や可否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	
	3 保安活動の実施 ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	

	<p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。
	<p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙－20に示す。</p>	

品質管理の方法等に関する検査記録

23

検査年月日 令和 元 年 12月 24日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		継続
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。 工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。	
	2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や可否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	
	3 保安活動の実施 ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	

	<p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事及び検査が 2 の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。次工事中であるため、回以降の検査においても、継続して確認する。
	<p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙－20に示す。</p>	

品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 5 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉冷却系統施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 冷却塔 冷却塔塔体 ポンプ室	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		良
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。	
品質管理の方法等に関する所見	<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 	
	<p>2 保安活動の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や可否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。 	
	<p>3 保安活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。 	
	<p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。 	

	<p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none">・予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。
備 考	<p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙－20に示す。</p>

記 録 一 覧 表

9

検査年月日 令和元年 10 月 10 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
1	・原子力科学研究所品質保証計画書	QS-P10 H30.7.18	(品)
2	・研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研)QAM-620 H31.3.15	(品)
3	・力量評価票		(品)
4	・JRR-3施設の保安活動に従事する者の力量 評価マニュアル	QAM-620-001 H30.10.17	(品)
5	・原子力科学研究所調達管理要領	(科)QAM-740 R1.8.5	(品)
6	・施設建設等事前協議書		(品)
7	・調達文書		(品)
8	・調達要求事項の確認		(品)
9	・施設建設等依頼書		(品)
10	・引合先の評価・再評価票		(品)
11	・研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研)QAM-730 R1.9.2	(品)
12	・設工認申請書		(品)
13	・工事仕様書		(品)
14	・研究炉加速器技術部業務の計画及び実施 に関する要領	(科研)QAM-710 R1.9.30	(品)
15	・工程会議議事録		(品)
16	・設計管理計画(冷却塔の耐震改修)		(品)
17	・研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研)QAM-820-004 H30.4.1	(品)
18	・コンプレッサ棟の耐震改修 事業者検査 要領書	(科研3)QAM-820-013 R1.6.13	(品)
19	・冷却塔の耐震改修 事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-014 R1.6.13	(品)
20	・研究炉加速器技術部文書及び記録の管理 要領	(科研)QAM-420 R1.9.2	(品)
21	・原子炉施設等安全審査委員会規則	(科)QAM-550 H31.4.1	(品)
22	・研究炉加速器技術部部内安全審査会運営 要領	(科研)QAM-550 R1.9.9	(品)
23	・研究炉加速技術部監視機器及び測定機器 の管理要領	(科研)QAM-760 H31.9.14	(品)

24	・管理台帳		(品)
25	・JRR-3 管理課技術検討会の運営要領	QAM-550-001 H29. 4. 1	(品)
26	・設計要求事項の適切性の評価記録 (冷却塔の耐震改修)		(品)
27	・設計要求と設計結果の対比の記録 (冷却塔の耐震改修)		(品)
28	・設計の検証の記録 (冷却塔の耐震改修)		(品)
29	・原子力科学研究所品質目標管理要領	(科)QAM-540 H31. 3. 29	(品)
30	・原子力科学研究所の品質目標		(品)
31	・所の品質目標設定票		(品)
32	・原子力科学研究所原子炉施設及び核燃料 物質使用施設等品質保証計画に基づく品質 目標		(品)
33	・部の品質目標設定票		(品)
34	・原子炉施設等安全審査委員会議事録 その2 : H30. 8. 9、H31. 3. 7 その5 : H30. 10. 11、H31. 1. 17 その6 : H30. 11. 12、H31. 3. 7 その8 : H30. 12. 17、H31. 4. 11		(品)
35	・研究炉加速器技術部部内安全審査会議事 録 その2 : H30. 8. 2、H31. 3. 5 その5 : H30. 10. 9、H31. 1. 15 その6 : H30. 10. 30、H31. 3. 5 その8 : H30. 12. 11、H31. 4. 9		(品)
36	・マネジメントレビュー実施要領	QS-P02 H30. 4. 1	(品)
37	・マネジメントレビューへのインプット情 報報告書		(品)
38	・原子力科学研究所不適合管理及び是正処 置並びに予防処置要領	(科)QAM-830 R1. 10. 1	(品)
39	・外部情報 (メール配信 : R1. 7. 2、R1. 7. 9)		(品)

*備考欄の記載について

(材) : 材料検査、(配) : 配筋検査、(型) : 型枠検査、(外) : 外観検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査

記録一覧表

3

検査年月日 令和元年12月4日
検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
1	・原子力科学研究所品質保証計画書	QS-P10 H30.7.18	(品)
2	・研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研) QAM-620 H31.3.15	(品)
3	・力量評価票		(品)
4	・JRR-3 施設の保安活動に従事する者の力量 評価マニュアル	QAM-620-001 H30.10.17	(品)
5	・原子力科学研究所調達管理要領	(科)QAM-740 R1.8.5	(品)
6	・施設建設等事前協議書		(品)
7	・調達文書		(品)
8	・調達要求事項の確認		(品)
9	・施設建設等依頼書		(品)
10	・引合先の評価・再評価票		(品)
11	・研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研)QAM-730 R1.9.2	(品)
12	・設工認申請書		(品)
13	・工事仕様書		(品)
14	・研究炉加速器技術部業務の計画及び実施 に関する要領	(科研)QAM-710 R1.9.30	(品)
15	・工程会議議事録		(品)
16	・設計管理計画 (冷却塔の耐震改修)		(品)
17	・研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研)QAM-820-004 H30.4.1	(品)
18	・コンプレッサ棟の耐震改修 事業者検査 要領書	(科研3)QAM-820-013 R1.6.13	(品)
19	・冷却塔の耐震改修 事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-014 R1.6.13	(品)
20	・研究炉加速器技術部文書及び記録の管理 要領	(科研)QAM-420 R1.9.2	(品)
21	・原子炉施設等安全審査委員会規則	(科)QAM-550 H31.4.1	(品)
22	・研究炉加速器技術部部内安全審査会運営 要領	(科研)QAM-550 R1.9.9	(品)
23	・研究炉加速器技術部監視機器及び測定機 器の管理要領	(科研)QAM-760 H31.9.14	(品)

24	・管理台帳		(品)
25	・JRR-3 管理課技術検討会の運営要領	QAM-550-001 H29. 4. 1	(品)
26	・設計要求事項の適切性の評価記録 (冷却塔の耐震改修)		(品)
27	・設計要求と設計結果の対比の記録 (冷却塔の耐震改修)		(品)
28	・設計の検証の記録 (冷却塔の耐震改修)		(品)
29	・原子力科学研究所品質目標管理要領	(科)QAM-540 H31. 3. 29	(品)
30	・原子力科学研究所の品質目標		(品)
31	・所の品質目標設定票		(品)
32	・原子力科学研究所原子炉施設及び核燃料 物質使用施設等品質保証計画に基づく品質 目標		(品)
33	・部の品質目標設定票		(品)
34	・原子炉施設等安全審査委員会議事録 その2 : H30. 8. 9、H31. 3. 7 その5 : H30. 10. 11、H31. 1. 17 その6 : H30. 11. 12、H31. 3. 7 その8 : H30. 12. 17、H31. 4. 11		(品)
35	・研究炉加速器技術部部内安全審査会議事 録 その2 : H30. 8. 2、H31. 3. 5 その5 : H30. 10. 9、H31. 1. 15 その6 : H30. 10. 30、H31. 3. 5		(品)
36	その8 : H30. 12. 11、H31. 4. 9	QS-P02 H30. 4. 1	(品)
37	・マネジメントレビュー実施要領 ・マネジメントレビューへのインプット情 報報告書		(品)
38	・原子力科学研究所不適合管理及び是正処 置並びに予防処置要領	(科)QAM-830 R1. 10. 1	(品)
40	・外部情報 (メール配信 : R1. 7. 2、R1. 7. 9)		(品)

*備考欄の記載について

(材) : 材料検査、(配) : 配筋検査、(型) : 型枠検査、(外) : 外観検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査

記録一覧表

検査年月日 令和元年12月 23
24日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
1	・ JRR-3 冷却塔の耐震改修 事業者検査要領書	(科研) QAM-820-014 R1. 6. 13	(材) (配) (型) (外)
2	・ JRR-3 冷却塔の耐震改修 事業者検査記録		(材) (配) (型) (外)
3	・ 建設改修工事管理指針 (平成 28 年度版)		(配)
4	・ 監視機器及び測定機器 管理台帳		(型)
5	・ 原子力科学研究所品質保証計画書	QS-P10 H30. 7. 18	(品)
6	・ 研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研) QAM-620 H31. 3. 15	(品) (品)
7	・ 力量評価票		(品)
8	・ JRR-3 施設の保安活動に従事する者の力量 評価マニュアル	QAM-620-001 H30. 10. 17	(品)
9	・ 原子力科学研究所調達管理要領	(科) QAM-740 R1. 8. 5	(品)
10	・ 施設建設等事前協議書		(品)
11	・ 調達文書		(品)
12	・ 調達要求事項の確認		(品)
13	・ 施設建設等依頼書		(品)
14	・ 引合先の評価・再評価票		(品)
15	・ 研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研) QAM-730 R1. 9. 2	(品)
16	・ 設工認申請書		(品)
17	・ 工事仕様書		(品)
18	・ 研究炉加速器技術部業務の計画及び実施 に関する要領	(科研) QAM-710 R1. 12. 4	(品)
19	・ 工程会議議事録		(品)
20	・ 設計管理計画 (冷却塔の耐震改修)		(品)
21	・ 研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研) QAM-820-004 H30. 4. 1	(品)
22	・ 研究炉加速器技術部文書及び記録の管理 要領	(科研) QAM-420 R1. 9. 2	(品)
23	・ 原子炉施設等安全審査委員会規則	(科) QAM-550 H31. 4. 1	(品)
24	・ 研究炉加速器技術部部内安全審査会運営	(科研) QAM-550 R1. 9. 9	(品)

	要領		
25	・ 研究炉加速技術部監視機器及び測定機器の管理要領	(科研)QAM-760 H31. 9. 14	(品)
26	・ JRR-3 管理課技術検討会の運営要領	QAM-550-001 H29. 4. 1	(品)
27	・ 設計要求事項の適切性の評価記録 (冷却塔の耐震改修)		(品)
28	・ 設計要求と設計結果の対比の記録 (冷却塔の耐震改修)		(品)
29	・ 設計の検証の記録 (冷却塔の耐震改修)		(品)
30	・ 原子力科学研究所品質目標管理要領	(科)QAM-540 H31. 3. 29	(品)
31	・ 原子力科学研究所の品質目標		(品)
32	・ 所の品質目標設定票		(品)
33	・ 原子力科学研究所原子炉施設及び核燃料物質使用施設等品質保証計画に基づく品質目標		(品)
34	・ 部の品質目標設定票		(品)
35	・ 原子炉施設等安全審査委員会議事録 その2 : H30. 8. 9、H31. 3. 7 その5 : H30. 10. 11、H31. 1. 17 その6 : H30. 11. 12、H31. 3. 7 その8 : H30. 12. 17、H31. 4. 11		(品)
36	・ 研究炉加速器技術部部内安全審査会議事録 その2 : H30. 8. 2、H31. 3. 5 その5 : H30. 10. 9、H31. 1. 15 その6 : H30. 10. 30、H31. 3. 5 その8 : H30. 12. 11、H31. 4. 9		(品)
37	・ マネジメントレビュー実施要領	QS-P02 H30. 4. 1	(品)
38	・ マネジメントレビューへのインプット情報報告書		(品)
39	・ 原子力科学研究所不適合管理及び是正処置並びに予防処置要領	(科)QAM-830 R1. 10. 1	(品)
40	・ 外部情報 (メール配信 : R1. 7. 2、R1. 7. 9)		(品)

*備考欄の記載について

(材) : 材料検査、(配) : 配筋検査、(型) : 型枠検査、(外) : 外観検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査

記録一覧表

検査年月日 令和 2 年 3 月 3 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
1	・原子力科学研究所品質保証計画書	QS-P10 H30.7.18	(品)
2	・原子力科学研究所品質目標管理要領	(科)QAM-540 H31.3.29	(品)
3	・原子力科学研究所調達管理要領	(科)QAM-740 R1.8.5	(品)
4	・原子炉施設等安全審査委員会規則	(科)QAM-550 H31.4.1	(品)
5	・研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研)QAM-620 H31.3.15	(品)
6	・研究炉加速器技術部試験・検査の管理要領	(科研)QAM-820 H30.4.1	(品)
7	・研究炉加速器技術部文書及び記録の管理要領	(科研)QAM-420 R1.9.2	(品)
8	・研究炉加速器技術部部内安全審査会運営要領	(科研)QAM-550 R1.9.9	(品)
9	・研究炉加速器技術部業務の計画及び実施に関する要領	(科研)QAM-710 R1.12.4	(品)
10	・研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研)QAM-730 R1.9.2	(品)
11	・研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研)QAM-820-004 H30.4.1	(品)
12	・研究炉加速器技術部監視機器及び測定機器の管理要領	(科研)QAM-760 H30.9.14	(品)
13	・設計管理計画(冷却塔の耐震改修)		(品)
14	・設計要求事項の適切性の評価記録(冷却塔の耐震改修)		(品)
15	・設計要求と設計結果の対比の記録(冷却塔の耐震改修)		(品)
16	・設計の検証の記録(冷却塔の耐震改修)		(品)
17	・JRR-3 冷却塔の耐震改修 事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-014 R1.6.13	(材)(配) (外)(品)
18	・JRR-3 冷却塔の耐震改修 事業者検査記録		(材)(配) (外)
19	・監視機器及び測定機器 管理台帳		(配)
20	・力量評価票		(材)(配) (外)
21	・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物 に対する適合性確認 事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-017 R1.6.13	(適)

22	・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物 に対する適合性確認 事業者検査記録		(適)
----	--	--	-----

*備考欄の記載について

(材) : 材料検査、(配) : 配筋検査、(型) : 型枠検査、(外) : 外観検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査